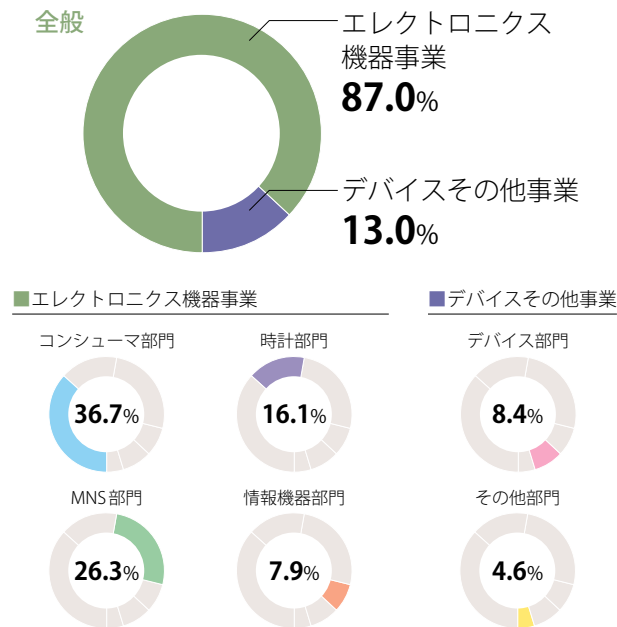


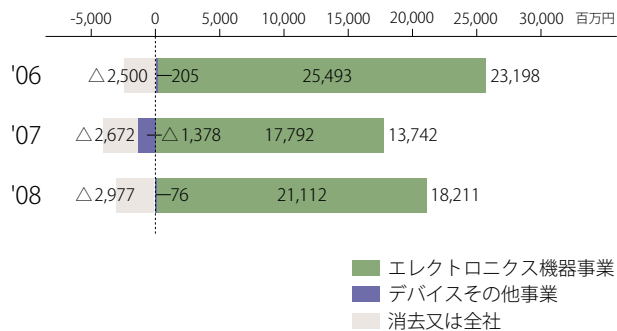
部門別の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間における各部門別の概況をご報告します。

売上高の部門別構成比



営業利益の概況



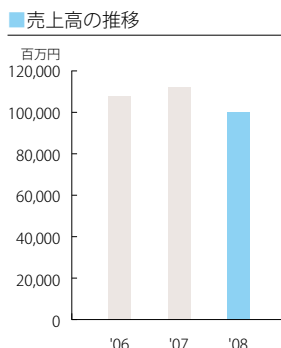
エレクトロニクス機器事業

売上高は、2,371億円となりました。

コンシューマ部門

売上高 **99,939百万円**

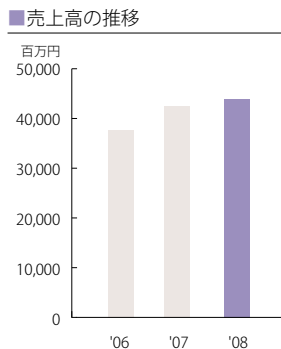
デジタルカメラは超高速連写とハイスピードムービーを搭載した「HIGH SPEED EXILIM」という新しいジャンルを創造し、今後の発展のベースを固めました。また、業界シェアNo.1の電子辞書「EX-word」は高付加価値モデルの販売が好調に推移しました。



時計部門

売上高 **43,937百万円**

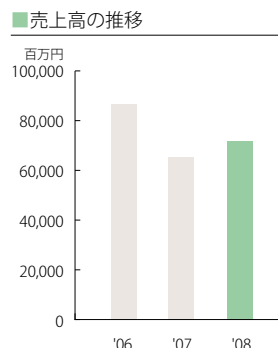
世界6局（日本2局、米国、ドイツ、英国、中国）の電波受信機能“マルチバンド6”搭載、フルメタル仕様の「OCEANUS」、 「G-SHOCK」を主軸とした高価格帯モデルが好調に推移した結果、売上高は対前年同期比3.2%増となりました。



MNS部門

売上高 **71,611百万円**

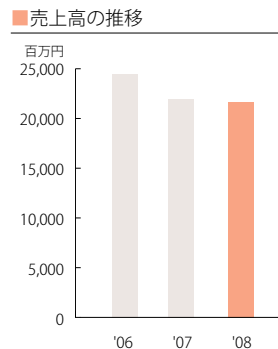
国内は5.1メガのカメラを搭載したワンセグ防水モデルや防水・耐衝撃モデル、2.8インチワイドQVGA有機ELディスプレイ搭載モデルなどが好調に推移。北米市場でも、タフネスケータイという新しいジャンルを着実に浸透。結果、売上高は対前年同期比9.3%増となりました。



情報機器部門

売上高 **21,629百万円**

最薄部32mmのスーパースリムプロジェクターやカーボンオフセット付きトナーを用意し環境への配慮を高めたA3対応高速カラーページプリンタなどの販売が伸びましたが、IT関連製品の価格低下の影響などを受け、売上高は対前年同期比ほぼ横這いとなりました。



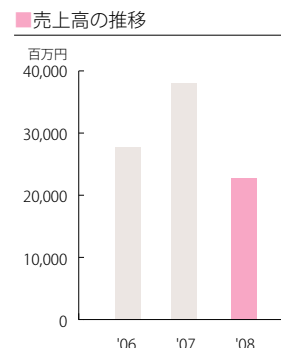
デバイスその他事業

売上高は、352億円となりました。

デバイス部門

売上高 **22,686百万円**

TFT液晶の単価下落による減収、カシオマイクロニクス（株）の不採算事業譲渡に伴い、減収となりました。



その他部門

売上高 **12,596百万円**

売上高は125億円となりました。

